

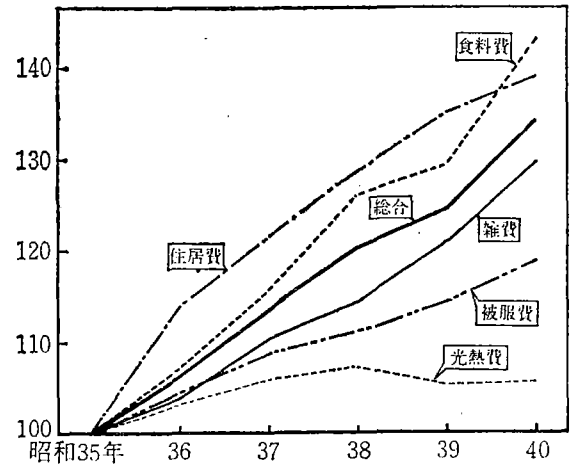
物価・賃金・家計

68. 千葉市消費者物価指数

ここ数年来、消費者物価の急騰が続いている。昭和35年を100とした千葉市の消費者物価指数の動きは、総合で、36年(+) 6.4% 、37年(+) 6.9% 、38年(+) 5.9% と、それぞれ前年に比べ上昇したが、39年には、公共料金の値上げ抑制があったため 3.5% の上昇に止まった。

しかし、40年には、消費者米価や医療費、バス代、水道料などの公共料金や、授業料、保育料などの大幅な引き上げと、秋口の野菜の暴騰などがあって、 7.9% の騰貴となり、この5年間で最高の上昇率を示した。

千葉市の消費者物価指数(昭和35年=100)



年 月	総合	食料費	住居費	光熱費	被服費	雑費
昭和30年	91.8	93.3	77.5	90.2	103.3	88.3
35	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
36	106.4	107.1	113.9	103.4	104.5	103.7
37	113.7	115.8	121.8	106.0	108.8	110.5
38	120.4	126.0	127.8	107.4	111.1	114.6
39	124.6	129.2	135.0	105.3	114.5	120.8
40	134.4	143.1	139.2	105.7	118.8	129.8
対前年変化率 (%)	7.9	10.8	3.1	0.4	3.8	7.5
1月	130.5	138.0	138.0	106.0	118.9	118.9
2	129.9	138.2	139.3	105.8	112.1	124.6
3	131.0	140.5	139.0	105.8	112.8	124.8
4	137.1	150.7	139.0	105.3	113.6	130.7
5	136.7	147.6	139.3	105.3	121.1	130.0
6	136.1	146.4	138.7	105.3	118.3	131.6
7	133.8	141.8	138.9	105.8	117.2	131.2
8	136.9	149.2	139.0	105.2	115.9	130.8
9	136.0	145.2	138.8	105.2	121.5	131.7
10	137.0	145.6	138.4	105.8	123.0	134.1
11	134.2	137.7	140.4	106.3	126.4	134.3
12	133.9	136.7	141.2	106.3	125.3	135.4